

令和6年度 学校自己評価システムシート (県立大宮工業高等学校 全日制)

目指す学校像	日本を支え 世界で活躍する 人間性豊かなエンジニアの育成 ～ 小中学生に憧れを！ 在校生に自信を！ 卒業生に誇りを！～
重点目標	1 主体的に取り組む力を育て、学力向上を目指した授業改善を図る 2 自ら律する規律性を育て、自他を大切にできる心を育成する 3 物事を探求する力を育て、望ましい勤労観、職業観を育成する 4 協働教育により、社会に開かれた教育課程を実現する

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	11名
	生徒	0名
	事務局(教職員)	16名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					学校関係者評価		
6年度目標					6年度評価(1月8日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	達成度	次年度への課題と改善策	
1	<p>【現状】授業や学校生活に前向きに取り組む、主体的に授業に臨む生徒が増加傾向にある。</p> <p>【課題】自主学習及び資格取得に積極的に取り組むなど、さらなる学習意欲を向上させるための支援・指導を行う必要がある。また、指導と評価の一体化を目指し、観点別評価を活用した学習改善及び授業改善に努める必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習改善及び授業改善 自主学習の習慣化 積極的な資格取得への挑戦 	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した理解を深める授業の実践 学科教科の学習内容の共有及び連携横断授業の実践 MHS 工業DXカリキュラム等の開発及び実践 資格取得に関する生徒や保護者への積極的な情報提供 資格取得に向けた講習会等の実践 MHS 産業実務家教員による授業の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒アンケートの「学習支援アプリ」、職員アンケートの「指導者用端末」の活用状況。 ②生徒アンケートの「他教科を関連付けて学ぶ」状況 ①生徒アンケートの「資格取得が充実している」及び資格取得に積極的に取り組む生徒が前年度より上昇したか。 	<p>A</p> <p>生徒アンケート「グーグル・クラスルームや学習支援アプリは活用できている」1, 2学年90%以上(3年81%) 昨年比6%アップとなった</p> <p>生徒アンケート「他の教科や科目に関連づけて学んでいる」75%となった</p> <p>生徒アンケートの「資格取得が充実している」85%となり昨年比7%アップした</p> <p>「資格取得に積極的に取り組む」挑戦64%となり3%アップした</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○新校の開校に向けて、生徒の「思考力・判断力・表現力」の伸長を目指す授業改善をするとともに、学習意欲の高い生徒の学力を伸ばす取組の強化を引き続き推進する。 ○指導と評価の一体化を目指し、観点別評価を活用した学習改善及び授業改善に努める。また、生徒タブレットを有効的に活用し生徒の学習環境向上に努める。 ○工業高校の大きな魅力の1つである資格取得を推進するため、生徒・保護者に対し積極的に資格取得に関する情報を提供する。 	<p>実施日 令和7年3月13日</p> <p>学校関係者からの意見・要望・評価等</p> <p>AI社会の到来に向けて先進技術を身につける授業を企画いただきたい</p> <p>ICTを活用した授業を実践するにあたり、学習支援アプリの効果的な使用や新たな視点をもった授業の工夫改善が必要だと思います。新校を開校するにあたり、思いきった取組に期待しています。</p> <p>意欲のある学生については、学校側も練習施設を提供するなどサポートを行っています。敢えて言えば資格の日程(申込期限・試験日等)が保護者側も解りやすい何かITツールなどがあると望ましい。</p> <p>ICTを活用した授業や資格取得へ積極的に取り組んでいるようなので、良いと思います</p>
2	<p>【現状】入学後の満足度が高く、高校生活が充実していると感じている生徒が増加傾向にある。</p> <p>【課題】基本的な生活習慣の確立及び自己管理能力を育成するとともに、自他を大切にすることを育むための支援・指導を行う必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立 自己理解及び自己肯定感の醸成 社会人としての基礎的な力の定着 学習環境の改善 自己管理能力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 10分前登校の推進 気持ちのよいあいさつの励行 MHS コンピテンシー表の研究開発及び活用 MHS 5S, SDGs, Kaizenにつながる授業及び講演会等の実践 生徒手帳の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒アンケートの「宮工に入学して良かった」が前年度より上昇したか。 ②コンピテンシー表等の活用により、自己理解が進んだか。 ①生徒アンケートの「宮工5S活動を実践できている」が前年度より上昇したか。 ②スケジューラーの活用状況の割合が前年度より上昇したか。 	<p>B</p> <p>生徒アンケートの「宮工に入学して良かった」が87%となり4%アップした</p> <p>社会人基礎力アンケート3年間の集計より、生徒は多くの項目で成長があった</p> <p>生徒アンケートの「宮工5S活動を実践できている」が65%となり9%アップ</p> <p>スケジューラーの活用状況の割合が27%となり8%アップした</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な行事を通じて、生徒が主役となる活動を推進し、在校生に自信と誇りを与え自己肯定感の醸成に努める。 ○学校生活全体を通じて、基本的な生活習慣の確立、社会人基礎力の向上を目指す。 ○5S活動やSDGsの意義を再確認させるとともに、生徒自身がより意欲的に活動できるよう支援・指導を行う。 ○生徒自身のスケジュール管理や、学年集会等でのメモ取りなどを推進し、組織的にスケジューラーを活用する場を設け、習慣化を図る。 	<p>校内を見学させていただく度に生徒の皆さんの自主性を重んじた学校の対応と生徒のコミュニケーション力に感心します。様々な行事を通して生徒が主役となり、自己肯定感が高まる指導を引き続きお願いしたい。</p> <p>PTA役員の方々からも「宮工に入って良かった」という声を伺う機会が多くあります。登校については、早く来る生徒も多い一方で、始業時間間際に登校する生徒もいます。実習棟は常に綺麗に使われており、5S活動が浸透していると感じます。</p> <p>生徒個人の成長だけでなく、学校全体のおいても協力し合い、調和のとれた関係を築けていると思います</p>
3	<p>【現状】生徒の第一希望の進路実現率が高く、生徒は学校行事や委員会活動等に積極的に取り組んでいる。</p> <p>【課題】生徒の第一希望の進路実現を目指し、個別最適な支援を行うとともに、望ましい勤労観や職業観の育成のための支援・指導を行う必要がある。また、全ての学習活動を通じて探究する力の育成に努め、生徒の自己実現の支援を行う必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事、委員会活動、部活動等への積極的な参加 探究力向上の支援体制の確立 勤労観や職業観の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> MHS 学科教科連携横断による教育活動の実践 生徒の自己理解、自己開発、自己実現への向けた支援の実践 生徒が主体となった特別活動等の実践 MHS 校内組織が連携したインターンシップやキャリア教育アゴラをはじめとしたキャリア教育の実践 MHS 他科(他分野)と協働した教育活動の実践 「進路レポート」等の作成と活用 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒アンケートの「キャリアパスポートを活用し、目標に対する計画、達成度について」の状況 ②生徒主体の学校行事が実施されたか ①生徒アンケートの「進路行事に積極的に参加している」が前年度より上昇したか。 ②学科教科間連携による授業やインターンシップ等の実践により、生徒の勤労観や職業観を醸成することができたか。 	<p>B</p> <p>生徒アンケートの「キャリアパスポートを活用し、目標に対する計画、達成度について」が68%となった</p> <p>学校行事が充実している85%となり10ポイントアップした</p> <p>主体的(積極的)に参加では進75%、委84%、学93%となった</p> <p>生徒アンケートの「進路行事に積極的に参加している」が1年69%、2年76%、3年80%、全体75%と12%アップ</p> <p>生徒アンケート1, 2学年「進路を考えている」84%となった</p> <p>学科横断型課題研究を4テーマ実施し、昨年より3テーマ増した</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学校行事や部活動に取り組み、目標に向けて前に踏み出す力、ゴールに辿り着く力を育成する。 ○生徒一人ひとりの個人最適な進路実現を目指し、支援体制と支援方法の確立を図る。 ○生徒の勤労観や職業観の醸成に努めるとともに、新校開校に向けた横断型課題研究の推進を図る。 	<p>地元企業等と協調して、学生が学びの望ましい勤労観、職業観を育成する。</p> <p>授業だけでなくインターンシップ制の実践により生徒の進路への意識や職業観の醸成につながっていると思います。学校独自のスペシャリティな部分を大切に生徒を育成してほしいと思います。</p> <p>キャリアデザイン・アゴラでは、企業や学校の説明があることで、将来に対するビジョンが固まりやすいと感じます。また、保護者も参加できるため、家族で将来の職業観について話し合う機会が持っています。ただし、保護者の参加者を増やすのであれば、できれば2か月以上前にアナウンスしていただくと助かります。</p> <p>生徒が主体的に学び、積極的にどんな課題にも興味を持ち、参加する意欲があり良いと思います</p>
4	<p>【現状】地域や企業、大学等との連携による「協働教育」が進められている。取組や魅力を伝えるための情報発信に努めている。</p> <p>【課題】地域社会等との連携を強化するとともに、持続可能な学校外連携の構築に努める必要がある。また、新校開校の情報も含めた学校の魅力の情報発信を強化する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会等との連携強化 積極的な情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> MHS 小中学生を対象とした「高校生が先生のものづくり教室」等の開催 MHS 中学校及び高校の教員を対象とした研修の実施 中学生及び保護者や中学校教員、学習塾関係者を招いた学校説明会等の実施 中学生の志望校選択に係る傾向分析の改善 学校HPや学校公式インスタグラムの積極的な更新 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒アンケートの「教育活動の外部発信に積極的に参加できたか」の状況。 ②本校の取組や魅力を学校内外に十分伝えることができたか。 	<p>A</p> <p>49%の生徒が「教育活動の外部発信に積極的に参加できた」と回答</p> <p>マイスター・ハイスクール事業では生徒発表会、全国発表を実施した学校説明会等の広報行事を増加した。また、生徒やPTAによる魅力発信を実施した。</p> <p>インスタグラムフォロワー数950を超えた</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の日々の学校生活の様子や本校の魅力積極的に学校内外に発信するとともに、生徒が主体となった連携事業を推進し、中学生が憧れる宮工生の育成に努める。 ○「こども大学」等の小中学生を対象とした講座を開講するなど、地域社会との連携を強化するとともに、持続可能な学校外連携の構築に努める。 ○動画やZOOMなどを活用し、来校しなくても本校の魅力が伝わる方法の検討が必要である。 	<p>チームを編成して1つの成果物を創る経験を積ませる機会を提供する</p> <p>新校の開校に向けて新たな教育課程と新しい時代に向けた授業実践を工夫していただき、全国に誇る高校に成長してもらいたいです。</p> <p>マイスター・ハイスクール事業を通じて、企業や大学の取り組みを学生の段階で経験できるため、社会連携が進んでいるように感じます。</p> <p>また、今年からは4学科合同課題研究会にて、企業を招待して学校との社会連携をアピールする機会も持っています。</p> <p>MHSを通じての取組や活動には、今後も期待したいと思います</p>